

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	小山ワークカレッジ宇治株式会社 就労支援事業所ハンズオン京都	事業所番号	2610981744
住 所	京都市伏見区魚屋町573 川口ビル 2F 213号室	管理者名	成田 明代
電話番号	075-574-7025	対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		70 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	40 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上でない		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動要に関する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		◎
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		○
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		◎
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		○
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		◎
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		◎
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		○
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		◎
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		○
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）	9	点

（※）任意の5項目を選択すること（注1）8以上:35点、6〜7:25点、1〜5:15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった		◎
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		◎
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		◎
④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合	○	15 点
2回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		◎
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		◎
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		◎
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		◎
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	4	点

（※）任意の5項目を選択すること（注2）8以上:35点、6〜7:25点、1〜5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点	20点			25点		40点		40
多様な働き方	0点	15点			25点		35点		35
支援力向上	0点	15点		25点		35点			15
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
170	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間									
前年度（ 4年度 ）									
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	24,950	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,392	人	利用者の1日の平均労働時間数	7	時間	
(Ⅱ) 生産活動									
会計期間（4月～3月）									
前々年度（R3年度）									
生産活動収入から経費を除いた額	37,257,168	円	利用者に支払った資金総額	24,794,036	円	収支	12,463,132	円	
前年度（R4年度）									
生産活動収入から経費を除いた額	35,502,973	円	利用者に支払った資金総額	29,000,775	円	収支	6,502,198	円	
(Ⅲ) 多様な働き方									
前年度（ 年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）									
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 名 ※取得を進めた免許等： 制度の活用内容：			②利用者を職員として登用する制度 ◎職員として登用した人数 名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ☐ ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ☐ ※登用した日 年 月 日 勤務形態： 就業時間： 時 分～ 時 分 職務内容：			③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 ◎在宅勤務を行った人数 名 ※実施した期間： 月 日～ 月 日 就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分 職務内容：			
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制を活用した人数 名 ※実施した期間： 月 日～ 月 日 就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分 職務内容：			⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に従事した人数 1名 ※実施した期間： 7月 19日～ 8月 31日 就業時間（短時間）： 10時 00分～ 15時 00分 職務内容： クリーニング補助			⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度を活用した人数 2名 ※実施した期間： 4月 1日～ 3月 31日 就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分 就業時間（遅出の場合）： 12時00分～18時00分 職務内容： クリーニング補助			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎時間単位取得を活用した人数 名 ◎計画的付与制度を活用した人数 3名 ※取得した制度 ☒ 有給休暇の時間単位取得 ☐ 計画的付与制度 ☐ 取得した期間： 4月 21日～ 11月 7日 取得日数・時間 4日 32時間			⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等を取得した人数 6名 ※取得した内容： 療養のための休暇 取得した期間： 8月 4日～ 8月 12日 就業時間： 9時 00分～ 16時 00分 職務内容： クリーニング補助						
(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載									
(Ⅳ) 支援力向上									
前年度（4年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）									
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している ☒ ◎研修実施回数 外部 3回／内部 0回 対象職員数 5人 うち研修受講者数 3人 ※研修名 うつ病と認知行動療法コース 研修講師 京都市こころの健康増進センター波床将材氏 実施日・受講者数 2月 21日 1人			②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回 ※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ			③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☐ ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒ ※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 CERE WORKS 実施日/参加者数 9月 28日 1人			
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会等への参加回数 1回 ※商談会等名 CareTEX大阪 ※主催者名 フティックス（株） ※日時 11月 30日 ※内容 介護業界展示会			⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している ☐ ◎当該人事評価制度を周知している ☐ 人事評価制度の制定日 年 月 日 人事評価制度の対象職員数 名 うち昇給・昇格を行った者 名 当該人事評価制度の周知方法			⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している ☐ ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐ ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容			
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐ ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関			⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐ ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容						
(※) 実績のうち1事例を記載									

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援事業所ハンズオン京都	事業所番号	2610981744
住 所	京都市伏見区魚屋町573川口ビル2階213号室	管理者名	成田 明代
電話番号	075-574-7025	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<活動内容> ☆活動場所・・・小山システムクリーニング宇治（株） ☆実施日程・・・月～土、日曜以外の祝日 ☆実施した生産活動 医療用ユニフォームのクリーニング ☆施設外就労の概要 洗濯、乾燥の準備、ユニフォームの管理 ☆利用者数・・・定員20名	<活動の様子>  【 ポケットチェック 】 ボールペンや印鑑がポケットに残ったまま洗濯してしまうと、インクで染まってしまうため、しっかりチェックします。
<目的> 地域連携のねらい・・・ 作業者の担い手が少なくなっている地域において障がいのある方がその力を存分に発揮して頂いています。 また地域の事業者との間に共生が育まれています。 対象者にとってのメリット・・・ ☆繁閑期が無く安定した生計が立てられ、自立ができます。 ☆フルタイムで働けるため、社会保険に加入できます。 ☆様々な仕事を通して技術の習得ができます。	【 白衣たたみ 】 作業指導員の指導の下、手たたみ用の白衣を上下セットでたたみます。 多種多様な白衣ですが、マニュアルでもすぐに確認できるので安心です。 
<成果> ☆実施した結果・いろいろな作業を経験することで、自分に自信が持てる。 ・職場の仲間ができ、困ったときは相談できる人がいる。 ☆得られた成果・資格が取れる(クリーニング師・リネンサプライ技能検定など) ・職場の仲間と連携をとれるようになる。 ☆課題点 ・曖昧な表現は、混乱を与えるので、理解できる形で表現する。	 【 アイロン掛け 】 アイロン未経験のご利用者様も1ヶ月程できれいに仕上げるようになり、ご本人も仕上がった白衣を見て嬉しそうにされていました。

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 ・医師や看護師の方々が着用する白衣のクリーニング業務をお願いしております。各工程では注意をしなければならない工程もありますがきめ細かい対応と、丁寧な仕事をしてくださり、安心して仕事を任せることができています。 ・入って間もない方や、特殊な技術を必要とするアイロン掛けの工程などでも、写真付きのマニュアルを活用されながら、職員の皆様やさしく丁寧に指導され、利用者の方々が見る見るうちに上達したり、職域を拡大されている姿を見てみると、チームの一員として間近で成長を感じられることができ、非常にうれしく感じます。 今後の連携強化に向けた課題 ・企業間で綿密なコミュニケーションを図り、安心、安全はもちろんのこと、利用者の皆様が、より一層高いモチベーションをもって、働き続けたいと思っていただける職場環境の構築に継続して取り組んで参ります。			
連携先企業名	小山システムクリーニング宇治株式会社	担当者名	嶋村 潤

ハンズオン京都(A型)事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 22日

事業所名 就労支援事業所ハンズオン京都

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%		身体障がいのある方でも働けを環境づくりの構築
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		検討中である
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、利用者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	100%	0%		
	9	標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	10	生産活動スケジュールの立案をチームで行っている	80%	20%		ひと月に回数を決めてミーティングを行う。
	11	様々な生産活動が提供できるようチームで協力している	100%	0%		
	12	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	短い時間でも打合せを行っている	
	13	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%		全員が参加できる時間帯を設ける。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	15	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
関係機関との連携	16	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	40%	60%		ガイドラインの作成を行う
	17	サービス担当者会議に利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	18	関係機関との情報共有、連絡調整を適切に行っている	100%	0%		
	19	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療機関とは綿密な連絡のやり取りを心がけている	
	20	就業前に利用していた事業所、学校、との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		
	21	障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%		可能なかぎり全ての職員が研修受講できる機会を設ける

ハンズオン京都(A型)事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 22日

事業所名 就労支援事業所ハンズオン京都

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	22 利用者同士で業務外で活動する機会がある	0%	100%		コロナ禍において慰労会、忘年会の開催については自粛を継続中である
	23 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		
	24 日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
保護者への説明責任等	25 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	26 利用者の生活面の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	27 保護者同士の連携を支援している	0%	100%		コミュニティができるよう働きかける。
	28 利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	29 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信している	0%	100%		
	30 個人情報に十分注意している	100%	0%		
	31 利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	32 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	20%	地域の若者支援事業所から企業体験を受け入れている	
非常時等の対応	33 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	34 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	35 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	36 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載している	100%	0%		
	37 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		